



西南学院大学女子同窓会

西南ゆりの会

会報

31号

2024年3月31日発行
〈発行人〉梶塚洋美

Seinan Woman of the Year 2023

松村 由利子さん

歌人(83期・文英)



新会長挨拶

梶塚 洋美(88期・国際)

西南学院大学女子同窓会(西南ゆりの会)は1986年に発足し、近年はSEINAN Woman of the Year(西南ウーマン)、会報発行、女子同窓生支援、現役学生のキャリア支援などの事業を柱としていますが、2020年からは新型コロナウイルスによる自粛により活動もままなりません。その中で「同窓会」の意義を再考し「希望を届ける同窓会」をモットーに掲げて、2023年から再始動しました。同窓生へ水平方向に「希望」を届ける活動の継続はもちろんのこと、現役学生の日常生活や課外活動、ボランティア活動を支援するという垂直方向へ「希望」を届ける活動も始めました。「希望」は私たちの原動力です。これからも4万5千人に及ぶ女子同窓生に「希望」を届ける活動をしてまいります。

SEINAN Woman of the Year 2023 記念式典・祝賀会

2023年12月2日(土) at 西南学院百年館(松緑館)

西南学院大学女子同窓会(西南ゆりの会)主催の「SEINAN Woman of the Year(西南ウーマン)2023」に歌人の松村由利子さん(83期・文学部英文科卒)が選ばれ、12月2日(土)4年ぶりに記念式典と祝賀会が開かれました。

松村さんは卒業後新聞記者を経て歌人、エッセイスト、科学関係の児童書の翻訳など多方面で活躍しています。今回の受賞で「大学で学んだ文学作品の時代背景を理解した上で、読み解き学ばせしさを下地に、新聞社で鍛えられたことを糧にしてものを書いてきました。よき先輩、先生たちに教わったことを胸に頑張らなくてはと思います」と、喜びの言葉を述べられました。

ジャーナリストとしての与謝野晶子(1878-1942)の側面に焦点を当てた記念講演では、パンデミックや震災、戦争を生き抜いた経験が現代の私たちにも共感できる内容でした。

Profile ——— 松村由利子さん

1983年3月、西南学院大学文学部卒業。同年11月、同大学院英文学専攻中退。朝日新聞、毎日新聞の記者を経て2006年からフリーに。2010年からは石垣島に移住。歌人として短歌結社「かりん」に所属し、歌集は各種の賞を受賞。評論「与謝野晶子」では、ワーキングマザーとしての与謝野晶子に焦点を当て平塚らいてふ賞を受賞、「ジャーナリストと謝野晶子」では日本歌人クラブ評論賞受賞「まつむらゆりこ」の名義で科学関係の児童書の翻訳も手掛ける。



記念講演要旨

激動の時代を生きたと与謝野晶子 震災・パンデミック・戦争

与謝野晶子の生きた時代は、今の時代とかなり似ているのではないかと思います。「みだれ髪」でデビューし、日露戦争に出征した弟を思って作られた「君死にたまふことなかれ」という詩は有名です。

2022年秋に「ジャーナリストと与謝野晶子」という本を出版しました。タイトルに違和感を感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、晶子は当時の新聞に20年以上も評論を書き続け、分厚い評論集も15冊出版するなど大変意欲的にジャーナリストティックな仕事をしています。

加えて「源氏物語」をはじめ古典の現代語訳にも取り組み、子どものための読み物や、当時珍しかった「カルピス」の新聞広告の歌を詠むなどその活動は非常に多岐にわたっています。

11人の子どもを育てながらも、この膨大な仕事をこなすため、晶子は積極的に

本や雑誌、新聞を読みました。これは私たちにも大変示唆に富むのではないかと思います。

そして震災・パンデミック・戦争。関東大震災では16年かけて書いた「源氏物語」についての原稿を焼失してしまいました。しかし晶子はここから立ち直り翌年正月には「私たちはこの際、決して悲観してはならない」と力強く書いています。

次はスペイン風邪というパンデミックのとき、「政府はなぜ、いち早くこの危険を防止するために多くの人間の密集する場所の一時的休業を命じなかったのでしょうか」という指摘を百年前にしていたということは素晴らしいと思います。

最後は戦争。巷でシベリア出兵の是非が議論されていた時期に「女より智慧ありと云ふ男たちこの戦ひを罷めぬ賢さ」と、自分の本領である短歌で痛烈な批判をしています。

このように与謝野晶子と現代の私たちを重ねながらお話ししてきましたが、大変な時代を生き抜いて絶望せずに発信し続けたというところに感銘を受けます。今回の受賞は大きなきっかけというか、これからはもっとやらなくちゃと励まされています。



講演後には松村さんの本にサインを求めた列ができました。

時代を生き抜いて絶望せずに発信し続けたというところに感銘を受けます。今回の受賞は大きなきっかけというか、これからはもっとやらなくちゃと励まされています。

祝辞

今井尚生様 西南学院大学学長



大学の卒業生が社会に出て生き生きと活躍している姿は、学生たちにも心からの励みになります。

自然科学が産声をあげたのは17世紀ごろといわれます。ニュートンやガリレオなど科学者はキリスト教の信仰を持ち人格、信仰の中で統一された文章を書いていました。だんだん物質を記述する自然科学の言葉と魂を表現する言葉とが分離してまいります。

しかし、物質的な面と魂を持つという全人格的な存在を表現する「言葉」は、なくてはならないわけです。

松村さんは科学の造詣も深く、これからも私たちの存在が全人格的に表現されるような科学的視野も入れた歌の世界を見せていただけたらと思います。

推薦のことば

酒匂 純子様 (西日本新聞 論説委員)



松村由利子さんは歌人、エッセイスト、ノンフィクション作家、書評家、絵本作家、翻訳家など、いくつもの顔を持っておられますが、一言でいえば「今を書く人」ではないでしょうか。正確には、過去や未来について書きながらも今という時間が必ず土台にある。だから与謝野晶子も、米国の飛行士キャサリン・スティンソンも、松村さんの手にかかると、現代を生きる私たちも身近に感じられるのでしょう。根底にはみずみずしい感性だけでなく、新聞記者としての経験があると思います。命を慈しむ優しさや科学への謙虚な姿勢が作品には貫かれています。今後も類いまれな表現力で、松村さんが抱く世界を私たち読者と共有して下さると嬉しいです。

会長あいさつ

梶塚洋美 西南ゆりの会会長



松村由利子さん、SEINAN Woman of the year 2023の受賞おめでとうございます。

この顕彰は2017年の日本車いすテニス協会会長前田恵理さんから始まり、18年は舞台俳優の神田さち子さん、19年に児童文学作家の平泉和美さん、21年には日本で初めてセクハラの違法性を訴え勝訴した晴野まゆみさんを選出、そして今回が松村由利子さんです。

松村さんには2016年西南ゆりの会発足30周年記念エッセーコンテストの審査員などにご協力をたまわり、私たちもようやく「西南ウーマン」を授与できて大変喜んでいきます。今後も SEINAN Woman of the year を選出しご紹介してまいります。



西南ウーマン2023の楯を受け取る松村さん(左)



内海昌子さん(右端 56期・短児)の指揮で賛美歌を全員で歌いました





うめだ あきこ
埋田 晶子さん

(00期・文英、法科大学院)
福岡市
弁護士

文学部から弁護士めざして

大学卒業後、会社員を経て本学の法科大学院に入学。文学部出身だけに大変でしたが、何とか司法試験に合格し、弁護士になりました。約10年にわたり法律事務所に勤務した後、再生可能エネルギー事業会社の法務部に転職。約3年半、企業内法務の経験を積みました。現在は、また別の法律事務所に勤務。前職の経験を生かして再生可能エネルギー関係の法務をはじめ、企業法務を中心に弁護士として活動しています。

弁護士の仕事が面白いと感じるのは、事案の法的問題点を突き止め、関係する法令や判例、学説などから法的見解を導き出し、具体的事実を当てはめて解決するところです。今後も、依頼者のお役に立てるよう弁護士としてステップアップしていきます。



弁護士会の広報活動でラジオに出演(前列右)



いわむら ゆか
岩村 由香さん

(08期・外英)
アフリカ・ウガンダ
NPO法人のアフリカ統括

アフリカの人々を笑顔に

アフリカで働くことが幼い頃からの夢でした。現在は、京都市に本部があるNPO法人「道普請人」のアフリカ統括としてウガンダに駐在し、コミュニティー支援事業の立案と実施を担当しています。例えば、途上国の多くの生活道路はドロドロで、雨季には通れなくなります。「自分たちの道は自分たちで直す」をモットーに、沿線住民に道路の維持管理の技術を移転し、地域のインフラを構築していくシステムづくりをしています。このほか給水施設の設置、苗木生産・植林などの環境保全、若者のビジネス起業支援などさまざまな事業を展開しています。

支援や公共サービスが行き届かない地域で活動し、社会・経済的インパクトを生み出すことにやりがいを感じています。世界は広いです。機会があればぜひ、アフリカを訪れてみませんか。



コミュニティー住民との起業に関する話し合い

「希望を届ける同窓会」として
現役学生と同窓生をつなぎ続けます。



いしかわ ようこ
石川 陽子さん

(97期・経済)
東京都
ドキュメンタリー番組のディレクター

人生を切り取り 伝える仕事

大学卒業後、番組制作会社に就職し、現在はフリーランスで活動しています。取材させていただく方のこれまでの道のりをたどり、その思いを映像化して伝える仕事です。様々な苦境に立たされている人、誰も成しえなかった挑戦を続ける人…。すでにこの世を旅立った方の人生をお伝えすることもあります。

でも、どんなに取材を重ねても、伝えられるのはほんの一部。何を切り取り、どのように伝えるのか、その責任の重大さに立ちすくむこともしばしばです。だからこそ「見てよかった」と感じてもらえるものを作り続けたいと思っています。

※石川さんは東日本大震災で亡くなった方や行方不明の方の写真と家族のメッセージを紹介するNHK総合「こころフォトスペシャル」などを担当。



静岡県で取材中



いわお えいこ
岩尾 栄子さん

(92期・法法)
北九州市
福岡県直方市監査委員事務局長

自治体職員という選択肢

市民課や教育委員会など6つの部署を経験し、気付けば約30年が過ぎました。市役所の仕事は部署によって全く異なり、現在は監査委員事務局で、市役所の財務事務を中心に監査をしています。「市の携わる仕事はこれほど多岐にわたるのか」と感心しながら、関係法令と照らし合わせてそれぞれの事績を確認する毎日です。

北九州市に隣接する直方市の市役所を就職先にしたのは、自宅から通勤でき、転勤がないため子育てしやすく、やがて始まるだろう両親の介護も見据えたからです。仲間にも恵まれ、学ぶことの多い毎日です。

在校生や転職を考えている卒業生の皆さん、地元の自治体を就職先の選択肢に入れてみませんか。自治体という立場から地域発展の力になる人が増えることを願っています。



市庁舎前河川敷でのチューリップフェア (右が岩尾さん)



まつば ようか
松葉 遥花さん

(17期・国際)
ベトナム

青年海外協力隊

ベトナムで日本語指導

青年海外協力隊としてベトナム第3の都市・ハイフォン市で活動しています。児童文化会館という、日本の公民館のような場所で子どもたちに日本語を教えています。小学生クラスでは主に折り紙や日本の文化体験などを中心に、中学生になると学校で日本語を学ぶ生徒もいるので、日本語の文法や会話などが中心です。

協力隊になることは小学生からの夢でした。英会話教室に通い、西南学院大学など主催のスタディーツアーに参加し、地域おこし協力隊として活動し、専門性を高めるため現職(国立青少年教育振興機構)に入り、準備を重ねてきました。少し遠回りをしたなと思うこともありますが、この経験が私をベトナムに連れてきてくれたのだと考えると一つ一つが宝物です。

「雲外蒼天」。努力して困難を乗り越えた先に明るい未来があるという意味です。皆さんの未来も、私の未来も、蒼くきれいな空へと続きますように。



子どもたちがひらがなを正しく書いているか確認



いし い やす こ
石井 康子さん

(80期・法法)
福岡市

園芸研究家、(公財)日本花の会評議員

植物と暮らす

園芸歴は約40年になり、大学やガーデニング教室などで植物と暮らす楽しさを教えています。福岡市の「一人一花運動」の仲間の数百人と病院や地下鉄駅など20カ所を花で飾るボランティア活動にも取り組んでいます。2022年に都市緑化功労者国土交通大臣表彰を受賞。23年には「英国王立園芸協会チェルシーフラワーショー」に福岡市から派遣されました。花壇や寄せ植えは完成形をイメージして花の種類や配置を考えますが、植物は人間の意思とは無関係に育つため予想外の結果になることもあります。それも植物の魅力の一つです。

学生時代は司法試験準備室や管弦楽団に所属するなど、いろいろなことにチャレンジしました。興味があるものに打ち込んできたことが、今に生きていると思います。



「一人一花サミット2020」トークショー(中央が石井さん)



西南ゆりの会 2026年に40周年



にしだ ゆかり
西田 由加里さん

(95期・経済)
福岡市

西田ゆかり礼儀作法学院主宰

朗らかに あなたらしく

主に20代から70代を対象に、日本の礼儀作法や西洋のマナー、プロトコル(国際儀礼)などの講座を提供しています。

マナーというと、しきたりやルールなど窮屈なイメージをお持ちではありませんか。年齢を重ね、さまざまな社会経験を積んだクラスメートとともに学ぶことで、自然体でありながらも思いやりのあるコミュニケーション力が身につくとお声もいただいています。

特に「和食の作法講座」(写真下)が人気です。お箸や器の扱いだけでなく、ユネスコ世界文化遺産に登録された世界に誇る和食文化を次世代に伝えていきたいとの思いで続けております。これからも、大人の学びを通して、受講生が仲間と出会い、明日への力となる講座を企画していきたいと考えております。



うべ あい
馬場 愛さん

(97期・外英)
福岡市

学校法人河合塾 西日本教務部(福岡) チーフ

変化を恐れず、自分をアップデート

「人の成長に貢献したい」という思いで入塾し、結婚や出産など人生の節目も何とか乗り越え早26年。現在は九州エリアのカリキュラム策定や講師・校舎の運営マネジメント業務に携わっています。18歳人口の減少、入試制度改革、ICTの発達、コロナ禍を経た学びの変容…。教育を取り巻く環境変化はめまぐるしく、多様化したニーズに応える教育サービス提供のため、試行錯誤で奮闘する日々です。

職場には写真(下)以外にも西南学院大学OGが多くいて、さまざまな部門で活躍しています。この業界で強く感じるのは「学び続けること」の大切さ。変化の激しい社会を生きるには、私たち大人も正しく情報を収集し、課題を解決する術を学び続けていく必要があります。年齢を重ねても、自分をアップデートしていきたいものです。



西南学院大学OGの皆さんと(後列右から2人目が馬場さん)

西南ゆりの会 2023年度の活動から

第15回キャリア支援セミナー 「キャリア×多様性」開催

2023年7月7日、西南クロスプラザのレセプションホールで、在学生を対象にしたキャリア支援セミナー「キャリア×多様性」を開催しました。西南学院大学就職課・大学院課との共催。

1部は、ゲーム形式のワークショップ「クロスロードゲーム ダイバーシティ編」。人材育成講師の荒武勢津子さん(78・外英)の進行で、働き続ける中で遭遇する様々なジレンマについてカードと対話で考えていきました。「多様な人がいて多様な答えがあり、それを共有することに意味がある」ということへの理解が深まりました。2部の交流会は、参加した学生たちが、実際に社会で働く西南ゆりの会メンバーと話すことを通して自身のキャリアや将来を考える貴重な機会となったようでした。



女子学生を応援 生理用品を配布しました。

2021年、2022年に引き続き、2023年も10月25・26日の2日間、2号館1階学生ホールにて女子学生に無償で生理用ナプキン1袋(20個入り)を配布しました。

物価高騰の折、経済的に不安を感じる学生たちを支援することができ、さらに、西南ゆりの会の活動を知ってもらい良い機会となりました。次々に訪れる学生たちから「一人暮らしなので助かります」「ありがとうございました」という声を聞くことができ、好評でした。

「西南学院大学女子学生活動支援事業」スタート!

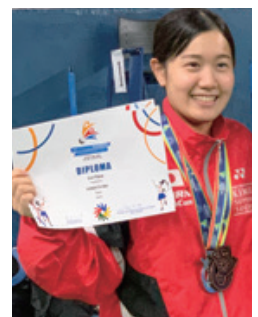
2023年度より、女子学生の活動を支援する事業を始めました。当支援制度は、全国大会に出場するなど、顕著な成績を収めている大学の女子部活動や、女子学生が中心となって企画・実施するボランティア活動、その他それに準ずる活動を対象とし、活動資金(上限5万円)を提供するものです。

本年度は、「第29回全日本大学かるた選手権大会2023」に出場した競技かるた部とデフバドミントン日本代表の鎌田真衣さん(3年・人間科学部)を支援しました。

2024年度の募集要項につきましては西南ゆりの会ホームページをご覧ください。



全日本大学かるた選手権大会



鎌田真衣さん

大学同窓会 支部総会に集った 女子同窓生

 <p>北九州支部 2023年6月3日</p>	 <p>熊本支部 7月14日</p>	 <p>翠会(福岡市役所職域支部) 8月21日</p>
 <p>鹿児島支部 9月9日</p>	 <p>関西支部 10月14日</p>	 <p>佐賀支部 11月2日</p>
 <p>大分支部 11月4日</p>	 <p>大川・みやま支部 11月17日</p>	 <p>東京支部 11月23日</p>

2023年度事業報告

- SEINAN Woman of the Year (西南ウーマン)2023
西南ウーマン2023に選ばれた松村由利子さんの記念式典・祝賀会を実施
日時：2023年12月2日
会場：西南学院百年館(松緑館)
- キャリア支援セミナー(在学生対象)
「キャリア×多様性」
日時：2023年7月7日
会場：西南学院クロスプラザ2階 レセプションホール
- 同窓生支援事業
2件支援
・「インドネシア DAY in 早良図書館」
NPO法人トゥマンハティふくおか 代表理事 弥栄 睦子さん
・「タノシニアン交流会」
タノシニアン 代表 伴 克子さん
- 女子学生支援事業
生理用品配布
日時：2023年10月25, 26日
- 女子学生活動支援事業
2件支援
・「第29回全日本大学かるた選手権大会」競技かるた部
・「デフバドミントン日本代表」鎌田真衣さん
- 会報31号の発行
2024年3月31日発行

7. 西南ゆりの会定期総会・記念講演会開催

51期(旧制専門学校英文学科)
富重順子さんに在学中の思い出を語っていただきました。
日時：2023年7月15日
会場：西南クロスプラザ2階 レセプションホール



8. 他団体合会への出席

- 西南学院大学同窓会総会、支部総会(6ページ参照)
- 九州女子学生卒業生の会「松の実会」総会・講演会(Zoom)

9. 定例理事会

原則毎月1回、第2水曜日に開催

2024年度事業計画(予定)

- SEINAN Woman of the Year (西南ウーマン) 2024
- キャリア支援セミナー(在学生対象)
- 同窓生支援事業
- 女子学生支援事業
- 女子学生活動支援事業
- 会報第32号の発行(2025年3月31日発行)
- 西南ゆりの会定期総会
- 他団体合会への出席
- 定例理事会
原則毎月1回、第2水曜日に開催

2022年度 決算報告 (2022年4月1日~2023年3月31日)

収入の部

項目	予算額	備考
繰越金	1,478,997	前年度よりの繰越
同窓会補助金	3,200,000	大学同窓会よりの助成金
事業費(ウーマン事業)	153,000	記念式典会費、ご祝儀
会報事業収入	250,000	会報広告
広報活動収入	200,000	バナー広告
雑収入	29	
収入の部合計	5,282,026	

支出の部

項目	予算額	備考
事業費	1,646,076	
(ウーマン事業)	514,730	運営費
(キャリア支援事業)	59,311	運営費
(会報事業)	1,072,035	会報印刷・デザイン料
広報活動費	293,550	支部総会参加旅費、ホームページ関連費、交際費ほか
事務局経費	701,339	同窓会室常駐費、リース料、事務用品他
会議費	51,273	
(理事会等経費)	48,312	理事会会議費、地域理事参加旅費補助、Zoom使用料
(総会費)	2,961	運営費
40周年記念事業積立金	500,000	
予備費	20,922	生理用品配布
大学同窓会返還金	1,000,000	
支出の部合計	4,213,160	
次期繰越金	1,068,866	
支出合計	5,282,026	

2023年度 予算 (2023年4月1日~2024年3月31日)

収入の部

項目	予算額	備考
繰越金	1,068,866	前年度よりの繰越
同窓会補助金	4,000,000	大学同窓会よりの助成金
事業費(ウーマン事業)	500,000	記念式典会費、ご祝儀
会報事業収入	250,000	会報広告
広報活動収入	200,000	バナー広告
雑収入	0	
収入の部合計	6,018,866	

支出の部

項目	予算額	備考
事業費	2,900,000	
(ウーマン事業)	1,000,000	運営費
(キャリア支援事業)	300,000	運営費
(同窓生支援事業)	400,000	活動支援金ほか
(女子学生支援事業)	200,000	生理用品配布ほか
(会報事業)	1,000,000	会報印刷・デザイン料
広報活動費	850,000	支部総会参加旅費、ホームページ関連費、交際費ほか
事務局経費	1,080,000	同窓会室常駐費、リース料、事務用品他
会議費	500,000	
(理事会等経費)	200,000	理事会会議費、地域理事参加旅費補助、Zoom使用料
(総会費)	300,000	運営費
40周年記念事業積立金	0	
予備費	200,000	
支出の部合計	5,530,000	
次期繰越金	488,866	
支出合計	6,018,866	

西南ゆりの会 理事・評議員名簿

(任期は2025年定期総会まで)

会長 梶塚 洋美 (88・国際)	理事 入江 恵美 (91・法法)	久留米 土屋 数紗 (12・外英)	評議員 吉田 扶久子 (68・商商)
副会長 高山 和代 (68・短児)	植村 康子 (92・国際)	福岡大川 野中 美保子 (79・法法)	井原 絹江 (73・法法)
桑野 綾子 (75・外仏)	鬼木 悦子 (92・文英)	福岡飯塚 前田 恵理 (77・商経)	藤井 千佐子 (73・外仏)
一瀬 香 (90・国際)	波多江 愛子 (93・法法)	福岡直方 植村 恵美 (94・商経)	納富 昌子 (76・外英)
理事 河内 光子 (69・文英)	篠田 磨佐美 (93・法法)	佐賀 川原 理子 (77・外英)	金縄 初美 (91・国際)
猿原 千香子 (77・法法)	上田 あい子 (97・商経)	長崎 鈴木 美由紀 (91・外仏)	(99・院国)
馬場 圭子 (79・外英)	菅原 真由美 (00・児教)	宮崎 知覧 由美子 (81・経経)	
古賀 敦子 (80・外英)	志村 直美 (05・経経)	大分 海原 みどり (84・国際)	
寺本 三鈴 (80・法法)	熊本 佳菜 (07・経国)	熊本 古崎 喜代子 (79・商経)	
重松 典子 (81・児教)	地域理事	監事 中里 利子 (71・文英)	
齋藤 美佳子 (81・外英)	東京 金丸 晃子 (00・法法)	井上 暁子 (83・商商)	
盛坪 美佳 (90・法法)	関西 澤 順子 (78・外仏)		
	北九州 塩田 英子 (78・商商)		

新体育館の竣工について

新体育館とプールが2023年6月に竣工し、同年9月1日から供用を開始しました。場所は旧体育館西側の大学西新グラウンドで、3階建て新体育館(延床面積9,577㎡)の南側にプール(214㎡)を配置しています。老朽化した体育館の建て替えと機能の向上を目指したもので、体育館1階には授業や部活動で使用する共用室やトレーニングジムなど、2階には吹き抜けのメインアリーナとサブアリーナ、3階はメインアリーナの観客席とサブアリーナです。また、全室空調を完備しスポーツ環境の快適性を高めています。トレーニングジムはガラス張りで開放感があり、女子学生の利用も増加しています。学生たちの正課だけでなく正課外でも活発な利用が期待されています。



西南学院大学の今井尚生新学長を訪問

2023年8月に、新役員(梶塚会長、高山副会長、桑野副会長、一瀬副会長)4人で、今井尚生(いまい・なおき)学長を訪問しました=写真下。「希望を届ける同窓会」をコンセプトに行っている会のさまざまな活動を紹介しました。今井学長からは、学生がコロナ禍の制限下で活動していた実態や、ようやく5類に移行した後の変化などについてお話を伺いました。さらに、西南ゆりの会の活動は、社会で活躍する先輩方の存在を知る良い機会となっているとの言葉もいただきました。また、学長就任後も継続されているハンドベルクワイアのご指導についても伺い、西南らしい学生活動の一端を知ることができました。



西南ゆりの会からのお知らせ

- SEINAN Womam of the Year (西南ウーマン) 2024の候補者となる方を募集しています。西南ゆりの会では、西南学院大学女子同窓生で顕著な業績を上げた人物を毎年選出し、顕彰する「西南ウーマン事業」を実施しています。自薦ではなく他薦で、どなたでも推薦することができます。
- 西南ゆりの会では西南学院大学を卒業した女子同窓生が企画、もしくは主催する事業に対して最大5万円を支援する女子同窓生支援事業を行っております。

いずれも詳しい情報はホームページをご確認ください。

西南ゆりの会の最新情報はこちらから

- 西南ゆりの会ホームページ
<http://www.seinan-yurinokai.jp>
女子同窓生活動支援事業の申請書や、会報のバックナンバーもダウンロードできます。
- 西南ゆりの会SNS (Facebook・Instagram)
イベントのお知らせや活動報告などの詳細をリアルタイムで掲載しています。

Facebook

Instagram



編集後記

今年度、当会の事業として新たに「女子学生活動支援事業」をスタートさせました。きっかけは、昨年度、会長と現役学生の座談会を実施したこと。会と現役学生のつながりができ、現役学生の会への期待を知ったことで新事業が誕生しました。全国大会水準の女子学生の部活動、女子学生が中心となって企画・実施するボランティア活動などに活動資金(上限5万円)の交付で支援します。実施要綱を確認のうえ、どしどしご応募ください。(一瀬 香 90期・国際)

西南学院大学同窓生を応援しています
西南学院オリジナルグッズ



西南チロリアン



セナフィー



ネクタイ



扇子



マフラータオル

上記写真掲載以外にさまざまなオリジナルグッズを販売しています。詳細はホームページでご確認ください。

大切なお車のコーティング (Keeper) が
定価の35%~OFF!!



【お問い合わせ】

(株)福栄ビルサービス

福岡市城南区長尾5-8-7
TEL: 092-874-8101 / 090-3194-0806
担当: 岩瀬・藤野
「西南ゆりの会会報を見た」と伝えてください。

卒業記念品 等の製作

印刷全般

(ポスター、チラシ、名刺、プログラム、冊子等)

英語 ↔ 日本語の翻訳サービス 等



学校法人 西南学院グループ

株式会社 キャンパスサポート 西南

〒814-0006 福岡市早良区百道1丁目14-29 TEL.092-823-3576 FAX.092-823-3590

